

「主体的・対話的で 深い学びに向かうための 授業改善」実践事例

～第3学年 総合的な学習の時間を通して～



第3学年 総合的な学習の時間

「～高齢者について学ぼう～」

【学習のねらい】

- 高齢者が日常生活で不安に感じていることを自分事として捉える。**
- 地域の高齢者との関わりを深める。**

1 子どもが見通しをもち、 自分の考えや思いを主体的に表現するための工夫

(1) 高齢者擬似体験

高齢者の気持ちを知り、理解を深めるために、社会福祉協議会の出前講座で高齢者擬似体験を行った。



全然、前が見えない。
こわい。



段差があると、
こんなに大変
なのか。



手元が見えにくい。
サポートがとてもう
れしい。

1 子どもが見通しをもち、 自分の考えや思いを主体的に表現するための工夫

(2) 交流会①

自分の思いを積極的・主体的に伝えることができるようにするために、地域の方との交流の機会を繰り返し設定し、交流を重ねた。(1学期=1回、2学期=2回、3学期=2回)



ポッチャのルールを
簡単に、説明します。



ミネ子さん、投げ方、
すばらしいです!!

1 子どもが見通しをもち、 自分の考えや思いを主体的に表現するための工夫

(2) 交流会②

地域の方に一方的に教えてもらう交流（昔話、昔遊び）
だけではなく、高齢者も児童も共に楽しめる場（ニュース
スポーツなど)を設定した。



2 自他を大切にし、 学び合う活動（ハイリントタイム）の充実

(1) 話し合い活動

話し合いの雰囲気を温ため、話し合いが充実するためには、まずお互いを名前と呼ぶことが大切だと考え、名札作りを行った。また、話し合いの場面では、できるかぎり、お互いのことを名前と呼ぶようにした。



名札ができました!!わたしたちの名前も覚えてくれるかな。



たかのりさん、昔の拝志小について教えてください。

2 自他を大切にし、 学び合う活動（ハイリントタイム）の充実

(2) リハーサル

事前に他学年や教師と活動のリハーサルを行った。その際に出た課題点を友達と話し合い、改善策を考えることで、本番の交流会で自信をもって高齢者に話しかけたり、説明したりすることができた。



2 自他を大切にし、 学び合う活動（ハイリuntime）の充実

(3) 伝え合う活動①

活動の前後に、高齢者の気持ちを考え、伝え合う場面を多く設定した。体験することで気付いたことや、考え方の変化について話し合うことで、高齢者への理解を深め、思いやりの気持ちをもつことができた。



2 自他を大切にし、 学び合う活動（ハイリuntime）の充実

(3) 伝え合う活動②

気持ちを伝え合う場面を多く設定した。

「伝承交流会ver・・・全体に思いを伝える場面」



色々な遊びができてよかった。
学級でもしてみたい。



みんなと交流ができて、
とてもうれしかった。

3 学びの成果と自己の成長を実感し、 次の学びにつなげるための振り返りの工夫及び評価

(1) 振り返り

振り返りの視点「は・い・し」を意識させながら、本時の
めあての振り返りを行った。

自分たちで考えたことをしっかりと地域の方に
伝えることができた。

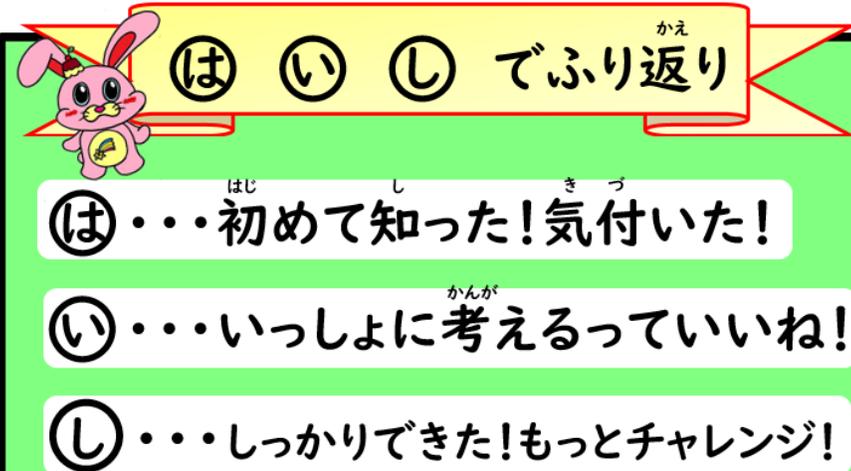
「しっかりできた」の「し」ですね。友達に
分かりやすく伝えられたのですね。

地域の方とボッチャの作戦を考えることができ
た。上手く行ってよかった。

「いっしょに考えた」の「い」ですね。

交流を深めるために、次回の交流は、自分たちで考え
たことを実行してみたい。

「し」の「もっとチャレンジ！」ができていますね。



拝志小「振り返りの視点」

成果

- 高齢者についての様々な調べ学習、体験活動、交流会を通して、地域の方、高齢者の思いや願いを理解し自分事として捉え、福祉についての自分の考えを深めることができた。
- 伝え合う活動や交流会を繰り返し設定することで、お互いを名前で呼び合うなど、高齢者と児童の距離が縮まり、積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿が見られた。
- 「交流会を成功させよう」という子どもたちの思いを大切にし、そのために事前に他学年や教師と活動のリハーサルを行ったり、改善策を考えたりした。また、交流会を1回だけで終わらせるのではなくて、複数回行うなど、協働的に学び合う場を効果的に設定することで、自分の考えや思いを深め、次回への学習（交流会）の活動に生かそうと主体的に行動する態度が育った。

課題

- 子どもたち自身がいろいろなことを考え、実行・体験することはできたが、それをまとめ、多くの人に伝えていくという場面（給食の放送、ホームページでの発信など）をもう少し設定することが必要である。相手に伝えていく活動を増やすことで、さらに学習が深まると感じた。
- 地域の方から、自分たちからも子どもたちに何か交流・活動ができればいいなという意見が出ていたが、その意見を生かすことができなかった。次回は、地域の方の思いを生かすための活動の場を設定すると、より交流の質が高まると感じる。